

善意銀行？

社協会費？

「あなたの温かいまごころ」が

「善意銀行」や「社協会費」という言葉を聞いたことはありますか？二つの事業は、ふくしのまちづくりを進める活動です。コロナ禍の中、自分にできる少しの気持ち



三田市善意銀行は、皆さまからの善意の寄付（金銭や物品）の窓口として設置されています。お預かりした金品は、必要とされている方々や福祉事業等へお届けしています。

また、当会では、兵庫県が昭和39年に6月1日を「善意の日」と定めた趣旨に賛同し、6月を「善意月間」としています。

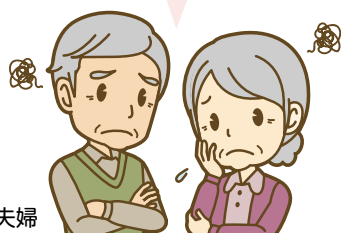


寄付いただいた物品からどのようにふくしのまちづくりが進められているのかをご紹介します。

1

長年介護生活だった親を見送ったAさん夫婦。自宅を整理していると、未使用のオムツや新品タオルが出てきました。

たくさん買っておいたけど、もう使い道がない。誰かの役に立ててほしい。



Aさん夫婦

2

困っている人の役に立ててほしいと考えたAさん夫婦は社会福祉協議会を訪ね、相談してみました。

ご相談ありがとうございます。善意銀行にご寄付ください。あなたのまごころを必要とされている人へお届けします！



社会福祉協議会職員

何か活用方法はありますか？

善意銀行でお受けできる物品

- ✻ 新品・未開封の肌着、オムツ
- ✻ 未使用の日用品（タオル・シーツ等）
- ✻ 未使用の車いす等
- ✻ バザー、イベント収益金の一部

※食べ物、電化製品、消毒が必要なもの（入浴器具、ポータブルトイレ等）や古着などお受けできないものもありますので、事前にご連絡ください。

